

まちゼミ「伏見講話」

伏見歩き隊

「伏見の歴史と文化」を基本テーマに4回の「伏見講話」を開催した。

第1回「伏見の観光とまちづくり」

第2回「開発政策と人口からみる伏見の発展」

第3回「商店街と私」

第4回「伏見まるごと博物館～フシジオについて」

「まちゼミ通信」の発行やフェイスブックで広く講話の内容を公開した。



フシミュラン（ガイドブック）

フシミュラン

ブログにて伏見区の店舗や観光スポットの情報発信を行い、伏見桃山から中書島界隈の店舗と散策ポイントを紹介した「おさんぽマップ」を作成した。

最大の目的であるガイドブック（冊子）作成のためのランチロケを行い、フシミュランガイドブックを200冊作成し、撮影協力店舗等に設置した。

大岩山の魅力を体感する自然調査プロジェクト

～里山の自然に触れて学ぼう～

伏見環境チーム

地域住民・関係団体・行政の力で不法投棄ごみの山から美しい里山へと蘇った大岩山の自然を後世に残すことを目的として、生息する動植物に関する調査資料の作成やこども自然教室（自然観察会）の実施を通じて、里山の魅力を学ぶ場を提供した。また、大岩山の散策路に動植物の解説看板を設置し、訪れる人々に里山の魅力を発信した。



「伏見のヨシ原，再発見」プロジェクト

「伏見のヨシ原，再発見」プロジェクト

ヨシ焼き実施のためには、地域住民に「伏見のヨシ原」について知ってもらうことが必要と考え、公開講座、上映会、シンポジウム等を行い、様々な角度から伏見のヨシ原の魅力について考える機会を作った。

関係行政機関と協議を重ね、平成25年3月4日～9日に住民によるヨシ焼きが実現した。

地域から広げる手作り市「ここはづ市」(久我・久我の杜・羽束師)

ここはづ市実行委員会

子育て世代を中心に住民同士が日常の悩みや望みを話し合う場・楽しんで交流する場として、久我の杜地域包括支援センターを会場に、手作り市「ここはづ市」を計6回開催し、毎回多くの参加者で賑わった。

「ここはづ通信」を発行することで、広く住民に地域情報を提供するなどお年寄りから子どもまで多世代の交流が図れた。



伏見まるごと博物館～基本計画の策定と第1期プランの実施 伏見まるごと博物館準備委員会

伏見まるごと博物館準備委員会を19回開催し、エコミュージアムの基礎研究、サテライトの探索やトライアル事業の実施などを行い、情報共有サイトやフェイスブックページを立ち上げた。

3月10日伏見区役所4階及び伏見青少年活動センターで実施したオープニングイベントには、140名もの参加があり大いに盛り上がった。

醍醐コミュニティカフェ 醍醐大学 醍醐コミュニティカフェ実行委員会

将来、醍醐・小栗栖・石田地域においてまちづくりやコミュニティ作りの活動を行う人に向けて参考となる勉強会を開くことができた。醍醐地域の大きな部分を占める「団地」におけるコミュニティ形成や解決すべき課題を抽出し、ワークショップ等によって解決策やアイデアに昇華させる試みができた。



いわたの森再生プロジェクト(醍醐石田まちづくり) いわたの森再生プロジェクト実行委員会

醍醐石田地域の今後のまちのあり方を探るために、都市資源利用と意向に関する実態調査を実施した。居住環境、施設利用及び今後については、社会教育、健康増進、福祉に継続の必要性と同時に、世代を超えた交流や安全希求などまちづくりへの関心の高さが確認できた。

第3回草津湊鯉海道祭り 横大路まちづくり協議会

11月に横大路会館1階ホールにおいて、第3回草津湊鯉海道祭りを開催し、地域の歴史を学ぶパネル展示や「鯉と鮎を学ぼう」と題した講演会、調理実演等による食育活動を行った。

桂川河川において小学生を対象に、河川レンジャー等指導の下、Eボートによる川下りとカヌー体験教室を開催し、桂川と横大路の関わりについて学ぶ取組を行った。



0.3mmのものがたり～ピンホールカメラでふしみをとろう～

濃縮風景採集民

9月と11月に伏見いきいき市民活動センターでピンホールカメラのイベント「0.3mmのものがたり～ピンホールカメラでふしみをとろう～」を開催。成果物を冊子として発行し、参加者に配付した。

第1回のイベントでの成果物のうち写真をパネルにし、10月の伏見区民文化祭に出品した。

久我・久我の杜・羽東師地域における住民主体のまちづくり 久我・久我の杜・羽東師地域まちづくり協議会

地域の歴史・文化の発掘、発信を通じて、住民の地域への愛着を深めるとともに、交流の機会をつくり、まちづくりの機運を高めるため、様々な活動を実施した。

薬膳講習会やふれあい農業体験を開催するとともに、地域の今昔写真の収集・展示やまち歩き、歴史的建築物の調査等様々な活動に取り組んだ。

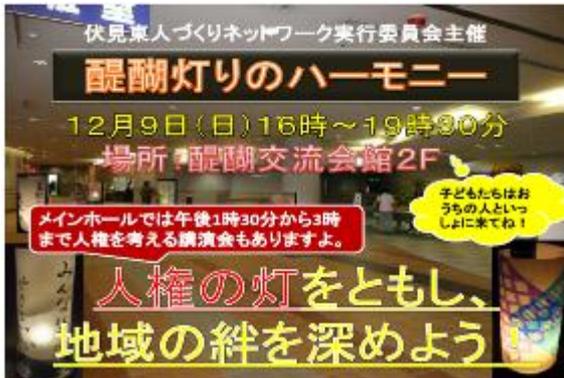


深草をフジバカマの花と香りで飾る地域連携プロジェクト 深草 W-ing 深草の風

絶滅寸前危惧種に指定されている藤袴の苗を初夏に2000鉢育て、伏見稲荷大社、藤森神社、深草地域の各自治会、学校、商店街に配置した。また、第22回深草ふれあいプラザにおいて地元学生ボランティアと協働で、藤袴の香りを楽しむワークショップを実施し、地域連携と自然への愛着を育む事業を実施した。

深草産・竹紙うちわの技術・文化の継承プロジェクト NPO 法人京都・深草ふれあい隊竹と緑

一度消滅した深草のうちわ作りを再興し、技術を継承していくために伏見工業高校の協力により深草うちわ作りに必要な道具を4台復元した。また、竹紙うちわ作りの体験教室を開催するなど、深草産・竹紙うちわを広く区民に普及することを目的とした事業を展開し、地元学生など若い世代にも技術・文化を伝えた。



醍醐灯りのハーモニー

人づくり21世紀委員会 伏見東人づくりネットワーク
実行委員会

醍醐交流会館を会場に、60基の人権灯路を点灯する中、人権にかかわる子どもたちの作品等の展示をはじめ、ステージ発表や交流広場などを実施し、多くの参加者で賑わった。醍醐支所、醍醐中央図書館、交流会館と連携し、地域の理解と協力も得て進めることができた。

醍醐子どもボランティアセンター事業

特定非営利活動法人 山科醍醐子どものひろば

5月に念願の醍醐事務所を開設したことを機に、醍醐地域の団体からボランティア活動の協力要請をたくさん受け、このニーズに応えることができた。

コーディネートの結果、高校生や大学生を中心にのべ60人のボランティアが、醍醐地域の子どもの対象とした8つの活動に、地域の人たちと共に参加することができた。

